

平成20年度主要施策一覧

ソフト事業 ハード事業

予算額(千円) 担当課

1. 環境調和都市

良好な環境の保全と創出
環境負荷の低減

[継続] 滝畑千石谷地区市所有森林の管理事業	8,150	農とみどりの整備課
[目的] 水源涵養、大気の浄化、災害防止、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止などの 森林の公益的機能を重視した市有林の整備および管理		
[内容]		
・ H15、H16 境界踏査調査、森林形態調査、境界確認		
・ H17 施業計画策定（管理などの作業事業計画等）		
・ H18 市有林管理調査事業		
・ H19～ 森林整備・管理		
樹木を選択して伐採する「択伐」を行うことにより、森林の育成を図る。 択伐により伐採した樹木は販売し、整備の費用に充当する。		
H20 市有林産物売払収入 6,000千円		

2. 共生共感都市

地域福祉の充実
健康づくりの推進
人権の尊重

[充実]	地域コミュニティソーシャルワーカー配置事業	36,400	地域福祉課
[目的]	専門相談の実施や社会福祉協議会、医療機関等専門機関のネットワークの構築を図る。		
[内容]	概ね中学校区を単位として援護を要する高齢者、障害者、子育て中の親等の見守り、課題の発見、専門的な相談の実施や地域福祉計画の進捗管理を行う。		
	・コミュニティソーシャルワーカー（CSW） 人件費 4,200千円×7名=29,400千円		
	・活動費 1,000千円×7ヶ所=7,000千円		
	社会福祉協議会、人権協会へ委託予定 委託料 36,400千円		
	H18配置 3箇所 社会福祉協議会（H20は三日市公民館の予定）、あやたホール、人権協会		
	H19配置 2箇所追加 千代田公民館、くすのかホール		
	H20配置予定 2箇所追加 加賀田公民館、天野公民館		
	【特定財源】府（10/10）36,400千円		
[新規]	地域福祉推進事業（地域福祉啓発事業）	330	地域福祉課
[目的]	地域住民が住みなれた地域で安心して暮らすことができるように、地域での支援体制（地域福祉のネットワーク）の構築を目指して、地域福祉に対する意識の醸成と高揚を図る。		
[内容]	（仮称）地域福祉シンポジウムの開催		
	報償費 120千円、需用費 170千円、役務費 40千円		
	【特定財源】府（1/2）165千円		
[継続]	高齢者地域介護・福祉空間整備等交付金事業	40,000	介護高齢課
[目的]	高齢者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるような介護・福祉基盤の整備を目的とする。		
[内容]	地域密着型介護老人福祉施設の特別養護老人ホームの整備に関する交付金事業である。		
	【特定財源】国（10/10）40,000千円		
[新規]	第2期障害福祉計画の策定	2,164	障害福祉課
[目的]	障害者自立支援法により、障害のある人々が自立した生活を営むために必要な福祉サービスなどが計画的に提供されることを目的とする。		
[内容]	H18年度に策定した「第1期障害福祉計画（H18～H20）」が計画最終年になるため、引き続き「第2期障害福祉計画（H21～H23）」を策定する。		
	報酬 164千円、委託料 2,000千円		
[新規]	障害者地域生活支援事業の実施	18,056	障害福祉課
[目的]	障害者等の福祉の増進を図ることを目的とする。		
[内容]	障害者相談支援事業（4,500千円）		
	障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行う。		
	委託料 4,500千円（専門職 精神保健福祉士）1名による相談体制の整備		
	成年後見制度利用支援事業（336千円）		
	身寄りのない知的障害者や精神障害者のうち判断能力の不十分な方々について、障害福祉サービスの利用契約の締結等が適切に行われるようにする。		
	扶助費 28,000円×12ヶ月×1名=336千円		
	【特定財源】国（1/2）168千円 府（1/4）84千円		
	住宅入居等支援事業（120千円）		
	障害者自立支援法が目指す地域生活移行の推進を実現するためには居住の場を確保することが重要であり、賃貸住宅への入居を促進する。		
	委託料 10,000円×12件=120千円		
	【特定財源】国（1/2）60千円 府（1/4）15千円		
	地域活動支援センター（13,100千円）		
	障害者等に創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を行う。		
	委託料 13,100千円		
	【特定財源】補助基本額 6,000千円 国（1/2）3,000千円 府（1/4）1,500千円		

<p>[新規] 南河内圏域障害児(者) 歯科診療事業の開始……………</p> <p>[目的] 「共生社会」の実現を目的として、一般の歯科診療所では治療困難な障害のある人の歯科診療を確保し、口腔の健康保持をとおして、障害児(者)の生活の質の向上を図る。</p> <p>[内容] 診療場所 河内長野市立休日急病診療所 診療時間 平成20年10月より診療開始。 毎週木曜日 午後1時～5時 予約制 アルバイト賃金、報償費、委託料など 22,858千円 【特定財源】南河内6市2町1村から負担金 18,226千円 診療報酬 900千円 (構成市) 松原市、藤井寺市、羽曳野市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、河南町、太子町、千早赤阪村</p>	22,858	健康推進課
<p>[充実] 乳幼児等医療助成事業の充実……………</p> <p>[目的] 少子高齢化現象の中で、安心して子どもを生育させることの出来る環境を作り出すとともに乳幼児等の健全な育成と児童福祉の向上を図る。</p> <p>[内容] 小学校就学前までの乳幼児の入通院に係る保険医療に係る自己負担分の一部助成と入院時食事療養費標準負担額の助成制度。H20.6月から入院に係る助成を市独自に小学校3年生まで拡大する。 扶助費 146,662千円、審査支払手数料 10,789千円など 【特定財源】府(1/2) 36,323千円</p>	159,399	保険年金課
<p>[充実] 母子保健健康診査事業(妊婦一般健康診査事業)の充実……………</p> <p>[目的] 妊婦の妊娠中毒症や糖尿病、貧血やその他の合併疾患のチェックを行い、流産・死産・未熟児の出生等を予防するための妊婦の定期健康診査の充実とB型肝炎ウイルスの母子感染の予防を図ることを目的とする。</p> <p>[内容] 妊婦健康診査の公費負担 回数を2回から国が基準として示す5回に拡大するとともに府外での受診に助成制度を創設する。 委託料 19,425千円 扶助費 260千円</p>	19,685	健康推進課
<p>[充実] 予防接種事業(麻しん風しんの予防接種)の実施……………</p> <p>[目的] 感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。</p> <p>[内容] 中学1年生及び高校3年生を対象とし、市内各医療機関及び公立中学校において予防接種受診体制(中学1年生は集団・個別接種、高校3年生は個別接種)を整え、平成20年度より5年間、法定での2回接種機会を確保する。 需用費(ワクチン代)、委託料など 40,614千円</p>	40,614	健康推進課
<p>[新規] 父子手帳の作成・配布……………</p> <p>[目的] 妊娠、出産及び育児に関する一貫した健康記録と乳幼児の保護者に対する育児指導書として母子健康手帳を交付しているが、併せて父子手帳を交付することにより父親等の積極的な育児参加を促進し、安全に妊娠から出産までを過ごし、安心して子育てできることを目的とする。</p> <p>[内容] 父子手帳作成 1,000部 420千円</p>	420	健康推進課
<p>[新規] 生活保護就労支援充実事業の実施……………</p> <p>[目的] カウンセラーによる就労支援を実施し、対象者の「自立支援」を促進する。</p> <p>[内容] 専門カウンセラーによるカウンセリングを通じて、支援対象者の就労意欲を喚起し、就労自立に向けての支援を推進していく。 対象予定者 20人 20人×6時間(延べ時間)×5,200円=624千円 交通費30回(1出勤につき4時間)×1,300円=39千円 【特定財源】国(10/10) 663千円</p>	663	地域福祉課
<p>[新規] 後期高齢者医療制度運営事業の創設(医療制度改革)……………</p> <p>[目的] 急速な高齢化の進展に伴い高齢者の医療給付の著しい増加が見込まれる状況に対応できる安定した財政基盤が必要となることなどから、国の医療制度改革の一環として、既存の保険制度とは別の独立した新たな保険制度を実施する。</p> <p>[内容] 資格情報・所得情報の広域連合への提供、被保険者証の年次更新・各種窓口受付処理、保険料徴収及び広域連合への納入業務、資格証・短期証の発行等 後期高齢者医療療養給付費負担金 725,379千円、広域連合市町村負担金 33,003千円、後期高齢者医療保険基盤安定制度繰出金 122,336千円</p>	758,382	保険年金課
<p>[新規] 特定検診・保健指導事業の実施(医療制度改革)【国保特会】……………</p> <p>[目的] 医療の適正化を図るため、生活習慣病対策を行う必要があるため。</p> <p>[内容] 特定健診等実施計画に基づき、40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者を対象に特定健診・特定保健指導を行う。 特定健診業務委託料 64,098千円など 【特定財源】国(1/3) 14,080千円 府(1/3) 14,080千円</p>	66,017	保険年金課

3. 元気創造都市

元気な地域づくり
まちを担う人づくり
産業の活性化

[継続] つどいの広場事業（子育て支援）……………	3,000	子育て支援課
[目的] 子育てを支援するため地域の身近な場所に気軽に集える場を確保する。		
[内容] 0歳から3歳児の保護者同志が気軽に交流したり、ボランティアを活用しての育児相談などを行う場を身近な地域に設置する。また、子育て支援にかかる団体（社会福祉法人、NPO等）が行う子育て情報、交流、相談事業などの子育て支援に関する事業を行う。		
内訳 週3回（火・木・金曜日開設）実施場所 「ふぁんふぁ～れ」（西片添町）		
委託料 3,000千円		
【特定財源】府（2/3）3,000千円×2/3=2,000千円		
[継続] 子育て家庭ほっと支援事業……………	5,319	子育て支援課
[目的] 引きこもりがちな家庭など、行政の支援が行き届きにくい家庭へ保育士が訪問することにより、子育てに対する不安感や負担感の軽減を図る。		
[内容] 就学前の子どもがいる家庭を保育士が訪問し、育児相談に乗ったり子育てサービスの情報を提供したりする育児支援事業を実施する。		
嘱託職員2名 5,147千円		
需用費 参考図書など 76千円、役務費 96千円		
【特定財源】府（1/2）5,312千円×1/2=2,656千円		
[新規] 次世代育成支援対策行動計画の策定……………	2,725	子育て支援課
[目的] 次世代を担う子どもの育成支援を図ることを目的とする。		
[内容] 平成17年3月に策定した行動計画が平成21年度までの前期5ヵ年までであり、平成22年度以降の計画を新たに策定する。平成20年度においては、行動計画策定の伴う市民ニーズ調査（3,000件）等を行う。		
報酬 222千円、旅費 3千円、委託料 2,500千円		
[継続] 放課後児童会施設の整備……………	1,200	青少年課
[目的] 放課後児童会施設の改修や老朽化した空調設備の計画的更新を行う。		
[内容] 空調設備更新（美加の台、南花台西、楠2児童会）：1,200千円		
[充実] 放課後児童会の土曜日開設及び時間延長……………	169,967	青少年課
[目的] 保護者の勤務形態が多様化していること、また、核家族化に伴い、家庭における子育て力の機能低下が指摘されていることなどから、少子化対策の強化に加え、子育てと仕事の両立に対する支援策として土曜日の開設及び時間延長を実施する。		
[内容] 嘱託員報酬：148,510千円 アルバイト賃金：12,589千円 需用費：4,878千円 他		
【特定財源】放課後児童会負担金：38,454千円 放課後児童会育成事業費補助金（国1/3 府1/3）：35,335千円		
[充実] 放課後子どもプラン事業の拡充……………	1,326	青少年課
[目的] 全ての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組みを推進する。		
[内容] 将来的には、各小学校で平日の放課後や土曜日に、校庭や空き教室等を利用して、PTAなどの地域の人たちが講師となり、様々な学習や遊びを提供する。平成20年度後半より、平成19年度からモデル実施の天見小学校に加え、2校追加して実施する予定。		
学習アドバイザー等：572千円 安全管理員委託料：600千円 消耗品費：124千円		
【特定財源】放課後子ども教室数進事業補助金（国1/3 府1/3）866千円×2/3=577千円		
[継続] 小学校施設大規模改造事業……………	81,863	教育総務課
[目的] 校舎・体育館の老朽改修・耐震補強を行う。		
[内容] 長野小体育館（耐震）		

ソフト事業	ハード事業	予算額(千円)	担当課
[継続]	三日市小学校法面整備事業	97,700	教育総務課
	[目的] 小学校東側の法面保護整備を行う。		
	[内容] 法面擁壁整備工事 (第3期) : 1,508㎡		
[継続]	小・中学校扇風機設置事業	11,300	教育総務課
	[目的] 普通教室への天井扇の設置を年次的に行う。		
	[内容] 小・中学校、設置工事 (千代田小、三日市小、西中)		
[充実]	教育情報化推進事業	24,300	教育総務課
	[目的] 校務処理用パソコンを市内小中学校全教員に配置することにより、教員のIT技術の向上を図るとともに、情報管理の一元化を行うことにより、情報セキュリティを確保する。また、各小学校において、インターネットを利用した「調べ学習」の機会を充実させるため、図書室にインターネットに接続するパソコンを整備する。		
	[内容] 市内小学校の校務処理用に教員1人1台相当のパソコン及びファイルサーバーを設置する。整備は平成19年度から平成24年度にかけて順次実施する。(H20年度は小学校1校当り8台導入予定) また図書室においては、児童5~6人グループでインターネットの利用ができるようパソコンを設置する。		
	使用料及び賃借料: 12,409千円 備品購入費: 10,010千円 他		
	【特定財源】 子ども教育支援振興基金: 10,010千円 (図書室のパソコン整備に係るもの)		
[新規]	特別支援教育支援員の設置	4,280	学校教育課
	[目的] 小・中学校において通常の学級に在籍しているが、教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して適切な教育を行うため、子ども達をサポートする特別支援教育支援員を設置する。		
	[内容] アルバイト賃金: 小学校 2,568千円 (3人) 中学校 1,712千円 (2人) 対象校は調整中		
[新規]	スポーツ施設整備事業	10,000	市民スポーツ課
	[目的] 少子高齢化の到来、自由時間の増加に伴い、生涯スポーツに対する意識が高まる中、市民の健康・体力づくりだけでなく、人々の強いつながりをつくるためのスポーツ施設をより安全に、また、利用しやすいように整備・改修をする。		
	[内容] 武道館改修工事		
[充実]	スポーツ振興事業	8,957	市民スポーツ課
	[目的] 市民の総合的な健康づくりやスポーツの普及・振興を機能的に進めるため、平成19年4月1日に創設した河内長野市総合スポーツ振興会を自主・自立団体となるように活動を支援する。		
	[内容] スポーツ振興事業委託料: 8,957千円		
	具体的な移行対象業務: 財務管理、各市民大会の受付等の業務、スポーツ振興会会議調整、体育施設の年間使用計画 等		
[充実]	図書館システムの更新	11,022	図書館
	[目的] 図書館・自動車文庫・公民館資料の貸出返却を管理する電算システムの更新、図書資料のインターネット予約システムの導入を行う。		
	[内容] 図書館及び公民館の資料数は現在36万点余りとなり、また資料予約は年間4万件、貸出・返却は年間100万冊を超えている。これらを管理する図書館電算システムは、導入から5年が経過し、ハード・ソフトの両面で不具合が起きてきている。このままではシステムがダウンしてしまう恐れがあることから更新を行う。またシステム更新に併せ、家庭用パソコンや携帯電話からもインターネット予約ができるようにシステムの充実を行う。		
	使用料及び賃借料: 11,022千円		
[継続]	国指定史跡保存整備計画策定事業	5,013	社会教育課
	[目的] 歴史遺産の保全を図り、教育・観光資源として活用するため、国指定の史跡である金剛寺・観心寺の歴史的景観の保存、管理を行うための方針を定める。		
	[内容] 平成19・20年度の2ヵ年計画で、史跡管理計画策定委員会を設置し、国庫補助金を活用しながら、観心寺・金剛寺の史跡管理計画を策定する。		
	管理計画策定委託料: 4,253千円 委員報酬: 200千円 印刷製本費: 400千円 他		
	【特定財源】 国宝重要文化財等保存整備費補助金 国: 1/2 5,013千円 × 1/2 = 2,506千円		

ソフト事業	ハード事業	予算額(千円)	担当課
[継続] 歴史遺産活用事業		4,369	社会教育課
[目的] 文化財建造物の保存のために必要な原材料のうち、木材・椀皮・茅・漆などの植物性資材の安定的確保に関する啓発事業を実施する。同時に広く文化財の保存と活用を図る。			
[内容] 滝畑ふるさと文化財の森センターの施設管理：3,612千円 文化庁等と連携して研修事業を実施し、地域の歴史・資材・技能に関する学習を通じて、地域の特色を生かした学校教育、生涯学習活動を行う：757千円			
[継続] 文化財特別公開事業		3,564	社会教育課
[目的] 普段公開していない本市に伝わる貴重な文化遺産をボランティアや所有者との協働により、現地で特別に公開し、文化遺産に触れる機会を設けることによって、文化遺産の大切さを啓発し、河内長野市への郷土意識を高める。			
[内容] 平成20年度開催地区：加賀田地区			
[新規] 小規模事業者資金融資制度の改正		48,658	商工観光課
[目的] 大阪府の小規模事業者向け制度融資の変更に伴い、市小規模事業者融資制度を廃止し、大阪府制度と連携した河内長野市小規模資金融資制度を設ける。			
[内容] 大阪府が小口零細企業保証制度を利用し平成19年10月1日より創設した大阪府市町村連携型中小企業融資制度との連携により、河内長野市における小規模事業者向け制度融資を安定的に継続するとともに、より利用しやすい制度へと改正を行う。 ・連帯保証人が不要 ・貸付利率は大阪府小規模資金融資利率から0.1%を減じた利率 ・信用保証料全額補助 小規模事業者融資預託金 39,000千円 小規模事業者融資管理業務委託料 1,400千円 経営安定のための信用保証料特別補助金 8,250千円 他			
[新規] 地域産業振興計画推進事業		3,000	農とみどりの整備課
[目的] 地域の活性化を目的として、地域振興施設（農産物・商工物産直売所）の整備検討を行う。			
[内容] H20 地域振興施設整備構想の検討 立地条件・施設機能・運営方法・採算性・整備手法等の調査研究			
[継続] 農村総合整備事業		68,150	農とみどりの整備課
[目的] 農業の生産性及び効率性を向上させるため農地整備を行う。			
[内容] (区画整理・集落道)高木・高向・川上地区：府が実施する事業に対する負担金 68,150千円 (区画整理)石見川地区：関連工事 2,000千円			
[継続] ふるさと農道整備事業		61,470	農とみどりの整備課
[目的] 市南部の5つの谷を結ぶ広域幹線道路の整備を行う。			
[内容] 府が実施する広域農道整備事業に対する負担金 <全体計画>起点・清水～終点・日野 L=5.5km W=9m(車道7m+歩道2m) (別途植樹帯1m)			
[新規] 高木・高向地区都市農村交流活性化事業		500	農とみどりの整備課
[目的] 農村総合整備事業による基盤整備の効果を発揮し、都市農村交流の拠点とするための構想を策定する。			
[内容] 大阪府立花の文化園や現在ほ場整備中の農地などがある高木・高向地区を都市農村交流の拠点とし、農業振興を推進するための構想策定を行う。			
[継続] 農作物鳥獣被害防止対策事業		1,890	農とみどりの整備課
[目的] イノシシ等の有害鳥獣による農作物被害の防止			
[内容] 農作物被害防止用として貸与している波板のほかに、広域的な対策として 防護柵の設置に対する補助金交付を実施 H20予定箇所 天野地区 高さ 1.2m 延長 約900m 受益面積 約5.2ha 実施事業費 2,700千円 地元負担 810千円 市補助金 1,890千円(うち大阪府補助 1,350千円)			

ソフト事業 ハード事業

予算額(千円) 担当課

- [継続] 新規就農者育成支援事業..... 1,000 農とみどりの整備課
- [目的] 新たな農業の担い手の拡充、農業振興・遊休農地対策を図るため、今後退職を迎える 団塊の世代を含めた潜在的な就農希望者の中から新規就農者を育成する
- [内容] 就農希望者に対する作物栽培に必要な基礎知識や栽培技術等の農業研修講座を実施
 口ハスコミュニティファームの整備
 H20 対象者30人(3コース 各10人) 実施主体は大阪府(負担金事業)
- [充実] 高野街道を基軸とした観光産業振興にかかる整備事業..... 10,000 商工観光課
- [目的] 河内長野市を来訪する観光客の利便性向上と観光イメージ向上を図る。
- [内容] H18 高野街道を基軸とした観光産業振興にかかる調査研究(中間報告)
 H19 中間報告をもとに、さらに調査研究を加え、最終報告書としてまとめる。
 H20 高野街道案内板・標識の設置、天見駅前の観光拠点としての整備検討等
 委託料: 4,000千円 負担金: 6,000千円

4. 安全安心都市

日常生活における安全安心の確保 非常時への対応 都市基盤の質的な充実

[継続] 自主防犯活動推進事業	2,000	自治協働課
[目的] 自治会等が行う防犯活動の一部経費を助成し、自主防犯活動を推進する。		
[内容] 地域の自主防犯計画づくり、講習会、広報、啓発活動など自主的な活動に要する経費と、帽子、腕章、看板などその活動に要する物品購入費、青色防犯パトロールに要する資機材、燃料費に対して補助する。		
[継続] 「一戸一灯運動」の推進事業	80	自治協働課
[目的] 「一戸一灯運動」とは、各家庭の門灯や玄関灯を一晩中点灯し、暗がりもなくし街全体を明るくすることで、夜間の街頭犯罪や侵入盗などを防止しようとするもの。また、「一戸一灯運動」とおして、市民一人ひとりが安全・安心のまちづくりを意識することを目的とする。		
[内容] 防犯協議会に対する委託事業(2,100千円)の中で、啓発チラシ等の配付、広報掲載、などを実施する。		
[継続] 安全・安心パトロール推進事業	105	自治協働課
[目的] 市民の防犯意識の高揚と犯罪の抑止を図る。		
[内容] 協力いただける方に「安全・安心パトロール車」ステッカーを配布し、車・バイク・自転車等にステッカーを掲げ運行していただく。		
[新規] 犯罪(侵入盗、乗り物盗、車上ねらい等)に応じた防止策の推進	200	自治協働課
[目的] より一層の「安全・安心都市 河内長野」を目指し、当市の犯罪傾向(侵入盗、乗り物盗、車上ねらい等)に対応した防止策を講じ、刑法犯罪全体の減少を図る。		
[内容] 防犯協議会に対する委託事業(2,100千円)の中で、犯罪の発生状況、及び、侵入盗・乗り物盗・車上ねらい・部品ねらいの防止について、講演会、市広報紙やHPを通じ啓発・注意喚起を行う。		
[継続] 消防防災拠点施設の整備	80,000	消防総務課
[目的] 消防庁舎の建設及び防災拠点の整備を行い、災害に対する防災意識の向上はもとより、大規模な災害時への対応を図る。		
[内容] 消防防災拠点施設建設用地にかかる造成工事の実施 ・測量設計等委託料 2,027千円 ・消防防災拠点施設造成工事費 77,973千円		
[継続] 消防施設・設備整備事業	79,800	消防総務課 警防課
[目的] 消防力維持のため、計画的な車両の更新、防火水槽・消火栓の整備などを行う。		
[内容] 車両更新：ポンプ車(北出張所)、消防搬送車(第4分団)、消防団屯所整備(第3分団)、40t級防火水槽設置(1箇所)、消火栓設置・修理		
[新規] 消防通信指令システム(119番の迅速化)	10,044	警防課
[目的] 携帯電話・IP電話からの119番通報による位置情報を指令台に表示し、初動の迅速化を図る。		
[内容] これまでIP電話による119番通報では、発信による位置情報を消防通信指令システムの指令台では直接受信できず、別途各事業者ごとの位置情報通知用パソコンが必要であり、また携帯電話においては音声通話のみで位置情報は把握できない状況であったが、発信による位置情報を指令台で一元管理ができるシステムの導入により、迅速な指令活動が可能となる。		
備品購入費：10,044千円		
[新規] 耐震性貯水槽整備事業	9,000	農とみどりの整備課
[目的] 広域避難場所である寺ヶ池公園に耐震性貯水槽を整備し、災害時の安全確保を図る。		
[内容] 広域避難場所である寺ヶ池公園に、耐震性と耐久性を持った100t級の貯水槽を整備し、約75,000人分の飲料水が確保できる体制を整えることで、防災機能の強化を図る。		
測量設計調査業務委託 5,000千円 事業評価委託 4,000千円		
[継続] AED「自動体外式除細動器」を全小学校に導入	4,620	危機管理室
[目的] 心肺停止状態になった人を一刻も早く措置することにより、救命できる確率が高くなることから、市民が多く集まる公共施設にAED(自動体外式除細動器)の導入を図る。		
[内容] H20年度は全小学校14校に導入する。 (H18年度は市庁舎、福祉センター、くすのかホール、あやたホール、市民交流センター、文化会館、保健センター、総合体育館、消防本署、南出張所、北出張所の11施設、H19年度は障害者福祉センター、青少年野外活動センター、千代田公民館、三日市公民館、全中学校7校の11施設)		
備品購入費：4,620千円		

ソフト事業 ハード事業

予算額(千円) 担当課

<p>[新規] 木造住宅耐震改修補助事業の実施……………</p> <p>[目的] 東南海・南海地震や、上町断層帯等の直下型地震など、甚大な被害が想定される地震がいつ発生してもおかしくない状況の下、建築物の耐震化90%を目標に緊急かつ優先的に取り組む必要がある。</p> <p> そこで、平成19年度に策定した河内長野市耐震改修促進計画（H20～27年度）に基づき、市内の建築物の耐震診断及び耐震改修を促進することにより、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的被害及び経済的被害等を軽減することを目的とする。</p> <p>[内容] 木造住宅の耐震化を促進するために補助制度を創設する。</p> <p> （国6.84%、府4.18%、市4.18%、所有者84.8%）</p> <p> 歳出 補助金 6,000千円（国2,700千円、府1,650千円、一財1,650千円）</p> <p> また、耐震化率を90%にするために、建物の所有者が自らの問題として耐震対策に取り組む必要があるため、啓発用パンフレットを作成し、窓口・説明会等で活用する。</p> <p> （国50%、市50%）</p> <p> 歳出 委託料 2,600千円（国1,300千円、一財1,300千円）</p>	<p>8,600</p>	<p>都市計画課</p>
<p>[新規] 土石流危険渓流看板設置事業……………</p> <p>[目的] 土石流危険渓流のうち、特に危険度の高い箇所について、市民の安全確保を図るため、注意を喚起する。</p> <p>[内容] 本市域内には、土石流危険渓流が220箇所あり、市民の安全確保を図るため、そのうち特に危険度の高い箇所から順次看板を設置する。平成20年度は20箇所に設置。</p> <p> 委託料：600千円</p>	<p>600</p>	<p>危機管理室</p>
<p>[継続] 公共交通ネットワーク事業……………</p> <p>[目的] 本市の実情に即した持続可能な公共交通サービスはどうあるべきかの視点に立った研究（平成18～19年度）の結果に基づき、地域の公共交通課題の解決に向けた協議の場を必要に応じて設置し、対応策の合意形成を図る。</p> <p>[内容] ・地域等での協議の場の設置</p> <p> ・学識経験者報償費 72千円</p> <p> ・（仮称）河内長野市公共交通会議の開催</p> <p> 平成19年度策定の「河内長野市公共交通のあり方」に基づく具体的取組み等を協議</p> <p> ・委員報酬 250千円</p>	<p>322</p>	<p>交通政策課</p>
<p>[継続] 河合寺竜泉寺線の整備……………</p> <p>[目的] 市東部の地域幹線道路として整備することにより、交通集中などの緩和を図る。</p> <p>[内容] <全体計画>H21完了 道路新設改良：L=724m、W=9.25(車道6.75m+歩道2.5m)</p> <p> 交差点改良：国道310号、L=154m</p> <p> H20 拡幅工事：L=210m</p>	<p>37,200</p>	<p>道路整備課</p>
<p>[継続] 三日市1号線の整備……………</p> <p>[目的] 三日市町駅周辺道路の交差点の安全性と駅へのアクセスの向上を図る。</p> <p>[内容] <全体計画> 道路拡幅：L=120m、W=4.5m W=12～24m 交差点改良：1箇所</p> <p> H20 用地先行取得、用地買戻し、埋蔵文化財発掘調査、拡幅工事L=50m</p>	<p>67,622</p>	<p>道路整備課</p>
<p>[新規] 市営住宅ストック総合活用計画の策定……………</p> <p>[目的] 既存の市営住宅を有効に利用していくことを目的とする。</p> <p>[内容] 既存の市営住宅の機能を維持していくために、計画的な管理が必要であり、そのために建物や設備等の大規模修繕を計画的に行っていく。</p> <p> 委託料 2,000千円</p>	<p>2,000</p>	<p>地域福祉課</p>

ソフト事業 ハード事業

予算額(千円) 担当課

<p>[継続] 配水施設等改良事業……………</p> <p>[目的] 計画的な配水施設等の改良を行い、安定給水を図る。</p> <p>[内容] 滝畑地区簡易水道統合整備工事、浄水場改修工事、老朽管更新工事など</p>	<p>1,014,635</p>	<p>水道総務課</p>
<p>[継続] 公共下水道の整備……………</p> <p>[目的] 安全かつ快適で衛生的な生活環境を確保する。</p> <p>[内容] 公共下水道（雨水）の整備：70,362千円 公共下水道（汚水）の整備：921,465千円 流域下水道事業負担金：58,972千円</p>	<p>1,050,799</p>	<p>下水道工務課 下水道管理課</p>
<p>[継続] 市設置型浄化槽の整備……………</p> <p>[目的] 浄化槽整備事業対象区域内にある未水洗住宅に対する個別浄化槽の各戸への設置を行う。</p> <p>[内容] 合併処理浄化槽の設置（15基）</p>	<p>32,078</p>	<p>下水道管理課 下水道工務課</p>
<p>[継続] 市営斎場の建替……………</p> <p>[目的] 老朽化した市営斎場を建て替える。</p> <p>[内容] 造成基本設計、建築基本設計</p>	<p>40,000</p>	<p>斎場整備課</p>

5. 自律協働都市
協働の仕組みづくり
行財政改革
広域連携

<p>[継続] 市民公益活動支援センターの運営……………</p> <p>[目的] 市民公益活動を支援し活性化を図るとともに、協働を促進し、公益の増進に寄与する。</p> <p>[内容] H19.11.29にオープンした市民公益活動支援センター「るーぶらざ」の施設の運営及び市民公益活動の活性化、ネットワークづくりの促進、協働の促進のための事業展開を行う（指定管理者：かわちながの市民公益活動推進委員会）。 延床面積306㎡（1階229.5㎡ 2階76.5㎡）</p>	<p>10,712</p>	<p>自治協働課</p>
<p>[継続] 市民公益活動支援・協働促進事業……………</p> <p>[目的] 市民公益活動の支援及び協働の促進を行い、協働のまちづくりを進めていくことで、自律性高いまちづくりを実現する。</p> <p>[内容] 協働を促進する制度の検討、協働マニュアルの整備、職員研修の実施、その他指針に基づく各種施策を市民とともに検討し、事業展開を行う。</p>	<p>3,444</p>	<p>自治協働課</p>
<p>[継続] まちづくり交流会の開催……………</p> <p>[目的] 地域づくりを進めるため、地域を取り巻く様々な担い手が集い、地域課題に対して主体的に取り組んでいくための「場」をつくることで、協働のまちづくりの推進を図る。</p> <p>[内容] 意見交換や課題の共有などを行うまちづくり交流会を、地域の担い手が主体となって開催できるよう、アドバイザーの派遣などを行う。</p>	<p>300</p>	<p>自治協働課</p>
<p>[継続] 集会所整備補助……………</p> <p>[目的] 地域の自治会活動を行う場としての集会所について、特に老朽化が著しい施設、設備の更新などに対する補助を実施する。</p> <p>[内容] 大規模改修2、改修・備品購入など5、プラス緊急対応分を予算化</p>	<p>33,000</p>	<p>自治協働課</p>
<p>[継続] アドプト制度の実施……………</p> <p>[目的] 道路、河川、公園などにおける自主的な清掃活動等を支援する。</p> <p>[内容] （道路：府と共同6団体「国道」、市単独8団体、うち重複1、合計13） 消耗品 72千円、ごみ処理手数料 190千円、サインボード作成委託料 80千円 （公園：H19から2団体、H20新規1団体予定） 消耗品 67千円、印刷製本費 58千円、ごみ処理手数料 20千円、サインボード作成委託料 80千円</p>	<p>567</p>	<p>交通政策課 農とみどりの整備課</p>
<p>[新規] シンボルキャラクター事業……………</p> <p>[目的] 市への愛着や誇りを育み、個性あるまちづくりを創造するとともに、市のイメージを内外に伝えるため定めているシンボルキャラクター（モックル）の健全なイメージを保全する。</p> <p>[内容] 類似作品の製作や乱用を防止するため、モックルの図形と名称を商標登録することにより権利保全を図る。 ・文字商標の登録 ・図形商標の区分追加登録（作業服、容器入り飲料水など） ・図形登録の既登録の更新（印刷物、公用車等、広報企画等、建築物等） 弁理士委託料：1,547千円</p>	<p>1,547</p>	<p>広報広聴課</p>
<p>[継続] 国際化推進事業……………</p> <p>[目的] 行政及び市民と諸外国の相互理解と国際化の浸透及び、日本語が苦手な外国籍市民の円滑な市民生活の支援。</p> <p>[内容] 本市で生活する外国人のうち、日本語の理解が充分でない外国人のため、本市が提供している様々な情報など、生活に密着したガイドブックを作成し、提供する。平成20年度は韓国語・やさしい日本語版を作成する。 暮らしのガイドブック作成委託料：500千円</p>	<p>500</p>	<p>生涯学習推進室</p>
<p>[新規] 戸籍電算化導入事業……………</p> <p>[目的] 電算システムが有する情報処理の正確性、迅速性、自動処理性等の特性を活用することにより、戸籍事務の正確性、迅速性、効率性を高め、もって市民に対する行政サービスの向上及び事務経費の削減を図る。</p> <p>[内容] 導入するシステム：現在戸籍・附票管理システム・除籍・改製原戸籍管理システム等平成20年度から平成21年度にかけてデータ作成を行い、現在戸籍においては、平成21年11月からの稼働を目指す。戸籍電算化業務委託料：80,000千円 アルバイト賃金：1,813千円 等</p>	<p>82,199</p>	<p>市民課</p>
<p>[充実] 文化施設予約システム構築事業……………</p> <p>[目的] インターネットや携帯電話等を利用して、市民交流センターや公民館などの市内貸館施設の空き情報の照会や、利用予約等を可能とする一元的なシステムを導入する。平成20年秋にシステム稼働予定</p> <p>[内容] （対象施設）市民交流センター、コミュニティセンター、市民ホール、公民館など15施設を対象に、上記機能を持ったシステムを導入する。</p>	<p>2,048</p>	<p>生涯学習推進室ほか</p>

ソフト事業 ハード事業

予算額(千円) 担当課

<p>[継続] 河内長野市・千早赤阪村合併協議会の負担金.....</p> <p>[目的] 合併すること自体の可否も含めて、合併に関するあらゆる事項の協議を行う組織である河内長野市・千早赤阪村合併協議会の運営経費にかかる負担金</p> <p>[内容] 平成20年度合併協議会予算：28,000千円（委員報酬、調査委託料、需用費等） 負担内訳 市負担：18,090千円 村負担：6,910千円 府補助金：3,000千円</p>	<p>18,090</p>	<p>合併対策室</p>
---	---------------	--------------